

【授業の到達目標および概要】

この授業は、学校における児童・生徒の「心の健康」の問題を主なテーマとし、各自がその現状と課題を理解することを目標とし、そのことで今後の展望を持てるようになることができる。

その際、心の健康の阻害状況、病理等のネガティブな側面だけでなく、その保持、増進といったポジティブな側面についても考えて行きたい。そのために、心理学的、社会学的、教育学的な諸側面から光を当て、問題を多角的かつ立体的に浮き彫りにすることを目指したい。

具体的には、複数の文献や資料を紹介しつつ、それらを読み解いていく中で履修者各自が自ら考え、問題を理解し、その解決策にまで考えを展開できるようにしたい。積極的、かつ主体的な授業への参加が望まれる。

【授業計画】

- ① 学校メンタルヘルスの課題
- ② 児童・生徒の抱える問題
- ③ 自尊感情の脆弱さ
- ④ 自尊感情をどう理解するか
- ⑤ 自尊感情を育む教育
- ⑥ 共有体験の意味1；日常生活における展開
- ⑦ 共有体験の意味2；学校教育における展開
- ⑧ 共有体験の意味3；カウンセリングなどの意義と課題
- ⑨ 自己効力感・自己有能感・自己有用感の意味と課題
- ⑩ 教職員の役割と課題
- ⑪ 過当競争などの現代社会の問題
- ⑫ 学校メンタルヘルスの展望
- ⑬～⑮ まとめ

【授業外学習】

授業開始前に、学校(小・中・高・大)についての履修者自身の個人的な体験について、A4用紙で2枚程度に各自でまとめておくこと。その際のポイントは、学校についての良い思い出、悪い思い出、思い出に残る授業・活動、思い出に残る先生などとする。

【成績評価の方法・基準】

授業時の発言、質問等による参加度(60%)とレポート(40%)によって評価する。

【教科書】

近藤卓著『自尊感情と共有体験の心理学』金子書房、2010年

【参考書】

近藤卓著『死んだ金魚をトイレに流すな―「いのちの体験」の共有―』集英社、2009年

近藤卓編著『いのちの教育の理論と実践』金子書房、2007年

中島一憲著『先生が壊れていく―精神科医のみた教育の危機―』弘文堂、2003年

近藤卓著『いのちを学ぶ・いのちを教える』大修館書店、2002年

【教材】

プリント資料を必要に応じて配布する。

【備考】

レポートの書式は以下のとおり。①A4サイズ用の紙に、縦置き横書きで40字35行とし、余白は20mmとする。②本文は10.5ポイントの明朝体とし、見出しは12ポイントのゴシック体とする。③「授業名」「履修者名」「学籍番号」を書いた用紙を表紙として添付する。字体はゴシック体とし、ポイントは任意とする。④左上の隅をステープラーで止める。